

盛岡市立病院 地域医療連携だより

No.31

平成 29 年1月発行

院長より挨拶

盛岡市病院事業管理者
兼盛岡市立病院長

かとう あきのぶ
加藤 章信



新年明けましておめでとうございます。
本年も何卒よろしく願い申し上げます。

盛岡市立病院では、お陰様で本年1月から泌尿器科を開設する運びとなりました。高齢化が進み前立腺肥大や尿路結石などで悩む方も増えており、医療ニーズが高まっている中、常勤医師に赴任いただき、少しずつではありますが診療体制を整えながら、職員一丸となって、さらなる病院経営の改善に取り組んでおります。今後とも、皆様方にお役に立てるよう努力して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、今回お届けする地域医療連携だよりでは、(1)泌尿器科新任医師の紹介(2)糖尿病教育入院のお知らせ(3)CKD重症化予防の取組みほかに関する内容を掲載させて頂きました。

いずれの内容も地域でご活躍の先生方、日頃からご支援いただいている介護施設等の皆様に当院がどのように密接な連携を築いていけるかという趣旨で進めている取組みでございます。

結びとなりますが、皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに、本年も相変わらぬご支援のほどをお願い申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

盛岡市立病院の基本理念

「優しさといわりのある病院」

「信頼され優れた医療の病院」

「開かれた地域医療のための病院」

3つの基本理念を掲げ、医療水準を高め、患者中心の医療を展開し、地域の中核病院として、より機能するとともに、健全な経営が行われる病院づくりを目指します。

目次

- 泌尿器科新任医師の紹介
..... 2
- 糖尿病教育入院のお知らせ..... 3
- CKD重症化予防の取組み..... 4
- 診療に関するお知らせ..... 6

盛岡市立病院 地域医療連携室

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目15番1号

代表電話 019-635-0101 FAX 019-631-2102

URL <http://www.morioka-city-hosp.jp/>



『泌尿器科』を新設しました

平成 29 年 1 月に新設いたしました泌尿器科の常勤医師を紹介いたします。

氏 名 工藤 大輔 (くどう だいすけ)

役 職 泌尿器科 科長

出身大学 弘前大学

専門分野

尿路結石レーザー治療

前立腺肥大症レーザー治療

泌尿器腹腔鏡

所属学会等

日本泌尿器科学会 (専門医 指導医)

日本がん治療学会 (がん治療認定医)

日本泌尿器内視鏡学会 (腹腔鏡手術技術認定医)

日本内視鏡外科学会 (腹腔鏡手術技術認定医)

アメリカ泌尿器科学会 (AUA) 会員

国際外科学会 会員



《経 歴》

- 1994 年 3 月 弘前大学医学部 卒業
- 1998 年 3 月 弘前大学医学研究科 大学院修了 (医学博士)
- 1998 年 4 月 弘前大学医学部 泌尿器科
- 2000 年 4 月 米国オハイオ州クリーブランドクリニック フェロー
- 2004 年 10 月 岩手医科大学 泌尿器科
- 2007 年 4 月 八戸平和病院 泌尿器科
- 2017 年 1 月 盛岡市立病院 泌尿器科

《あいさつ》

2017 年 1 月より盛岡市立病院 泌尿器科を新規開設いたしました。

前職八戸平和病院では、10 年間主に尿路結石ならびに、前立腺肥大症の内視鏡治療に専心してまいりました。その経験から、結石の痛みや前立腺肥大による頻尿のため、長期間日常生活に苦勞されている患者さんが、潜在的にたくさんおられるのを実感しました。内視鏡治療は、内服や体外衝撃波で治療が難しい症例に適応があります。

そこでこの度、所属しております岩手医科大学泌尿器科 小原航教授とご相談させていただき、盛岡で泌尿器レーザー治療を中心とした専門施設開設の運びとなりました。開設の目的の一つは、盛岡市の地域医療連携に尿路結石内視鏡治療を組み込むことにあります。盛岡市の泌尿器科診療を地域全体で支えることのできる一施設となることを目標に取り組んでいきたいと考えております。

当科の規模は大きくありません。診察させていただいた患者さんが、悪性疾患等で周辺施設での治療が適切と判断させていただいたときには、岩手医科大学泌尿器科ならびに、盛岡市泌尿器科医師会の開業医の先生と連携しながら、適切にご紹介などの対応をさせていただきたいと思っております。診療が軌道に乗るまでの間、ご不便等あるかと思いますが、ご理解いただければ誠に幸いです。

泌尿器科の診療日程

【外来診療】は、平成 29 年 1 月 30 日（月）から開始いたします。

なお、診療予約の受付を始めておりますので、同封いたしました【患者紹介 F A X 申込書】により、泌尿器一般でお悩みの患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】盛岡市立病院 地域医療連携室 電話 （代表）019-635-0101
担当：高橋 内線：2105 又は PHS 3300
【患者紹介 F A X 申込書】送信先 FAX 019-631-2102

【手術】は、準備が整い次第、2月中旬頃から開始する予定です。



『糖尿病教育入院』のお知らせ

飽食と言われる現在、我が国の糖尿病患者数は増え続けており、約 950 万人にも上ると報告されています。予備軍も含めると、2,050 万人を超えると推計されており、糖尿病は自覚症状がないままに病気が進行するケースが多く、発見が遅れると命に関わる合併症を引き起こす危険性があります。糖尿病についての正しい知識を得て、自分の身体を大切にし、自己管理を行うことが重要です。

当院では、患者さんの生活習慣の見直しや合併症の予防・早期発見のための糖尿病教育入院システムを構築しており、糖尿病専門医 3 名、糖尿病療養指導士資格を有する看護師を中心としたチームで、きめ細かく、熱意のこもった教育・指導を行っております。

なお、糖尿病の合併症である腎症については当院腎臓内科と、網膜症は当院眼科と連携して治療を行います。

地域の皆様の糖尿病診療の一助になればと考えておりますので、適応となる患者さんがおられましたら、是非お気軽にご相談・ご紹介ください。

【糖尿病教育入院の内容】

入院期間中は、医師・看護師（糖尿病療養指導士）・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・歯科衛生士が連携し、主に下記のような検査や食事・運動の指導などを行います。

■糖尿病検査（血糖日内変動、インスリン分泌能）

■合併症検査

- ・内臓疾患の有無や内臓脂肪面積の評価（腹部 C T）、動脈硬化症の評価（頸部エコー、A B I、頭部 M R I、下肢 M R A）
- ・糖尿病腎症、神経障害、網膜症の検査

■指導管理

- ・個別の食事療法や入院治療食の体験、糖尿病治療薬などの薬剤指導、歯周病予防のためのブラッシング指導

■ 運動療法

- ・ 患者さんの ADL や運動能力に合わせた指導（ストレッチやウォーキングなど）

多職種が連携し、ご家族を含め、温かくきめ細やかなチームケアを行ってまいります。

【糖尿病教育入院の日程・特徴】

■ 2～3週間コース

食事療法や運動療法についての学習と実践を行うほか、合併症や動脈硬化の検査を行いながら、自分の身体の状態を知り、血糖コントロールや糖尿病治療薬の調整を行っていきます。患者様は実際に血糖の改善と体重減量、治療効果などを実感することができます。

■ 1週間コース

短期間ですが、個別の食事療法や運動療法の指導、一部の合併症の検査を行い、今後の治療方針に役立てることができます。

■ 2泊3日 又は 1泊2日コース

仕事をされている方など、入院期間の制限される方では、主に糖尿病治療食の体験や血糖日内変動を見ることができます。

●上記のコースがありますが、患者さんのご都合などに合わせて、入院期間や入院日の調整が可能です。

●その他、インスリン導入目的やCGM（持続血糖測定モニター）による検査等の短期入院も随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



＋ 『慢性腎臓病（CKD）』重症化予防の取組み

●日本の高齢者人口は増え続け、それとともに慢性腎臓病（CKD）に罹患する方も増えています。現在、約1,330万人がCKDと推計され、これは成人の8人に1人に相当し、重症化したために新たに透析を開始される方も年々増加しております。2014年（平成26年）末には、透析患者数は32万人を超えています。そのためCKDの重症化を予防することが、新規透析導入患者減少のための重要な課題です。

●CKDとは

- ① 尿異常，画像診断，血液，病理で腎障害の存在が明らかであること。
 - ② 糸球体ろ過量（GFR）60ml/min/1.73m²未満であること。
 - ③ ①，②のいずれか，または両方が3か月以上持続する。
- と定義されています。（CKD診療ガイド2012より引用）

表1 CKDの重症度分類

原疾患		尿たんぱく区分		A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	正常		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		30未満		30~299	300以上	
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他	尿たんぱく定量 (g/日) 尿たんぱく/Cr比 (g/gCr)	正常		正常	軽度たんぱく尿	高度たんぱく尿
		0.15未満		0.15~0.49	0.50以上	
GFR区分 (mL/分 /1.73m ²)	G1	正常または高値	>90			
	G2	正常または軽度低下	60~89			
	G3a	軽度~中等度低下	45~59			
	G3b	中等度~高度低下	30~44			
	G4	高度低下	15~29			
	G5	末期腎不全 (ESRD)	<15			

重症度のステージはGFR区分と尿たんぱく区分をあわせて評価する。

重症度は原疾患・GFR区分・尿たんぱく区分をあわせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを緑色のステージを基準に、黄色・オレンジ・赤の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

- CKDは、腎機能と尿蛋白を組み合わせた病期分類を用いて経過を見ていくことが大切であり、腎臓病の早期発見につながります。

●かかりつけ医療機関から腎臓専門医への紹介のタイミング

- ① 健診で蛋白尿（2+）以上
- ② 血尿，蛋白尿ともに（1+）以上
- ③ eGFR50ml/min/1.73m²未満
(40歳未満ではeGFR60ml/min/1.73m²未満，70歳以上ではeGFR40ml/min/1.73m²未満)

●当院へご紹介いただいた場合

採血，採尿の再検査，泌尿器エコー検査ののち，CKDの病期分類，原疾患の診断（腎生検が必要な場合は高度医療機関への紹介）を行います。

●CKDと診断された場合

重症化予防目的で生活習慣管理，生活習慣病管理，CKD進展管理を行います。

- ① 蛋白制限，塩分制限を中心にした栄養指導（必要に応じカリウム，リン制限）
- ② 血圧，血糖値，脂質管理
- ③ 貧血，骨・ミネラル代謝異常の状態評価，カリウム値，尿酸値，尿毒素，腎排泄の薬剤調整

精査加療は外来通院でも可能ですが，頻回の通院が必要となりますので，可能であれば1週間程度の入院で精査加療を行っております。

腎臓病の早期発見，適切な治療介入により新規透析患者導入減少を目指して上記の取り組みを行っておりますのでよろしくお願いいたします。



+ 診療に関するお知らせコーナー

■ 患者さんをご紹介いただく医師の皆様へ ■

- ご紹介時には，別紙「紹介患者（検査依頼）FAX 申込書」をご利用ください。
 - 申込書受信後，折返し次の書類を FAX 送信いたします。なお，受診日時，病状等を当院より電話で問い合わせさせていただく場合がございますのでご了承ください。
 - ・ 外来患者さんのご紹介 … 「ご紹介確認書」，「来院のご案内（紹介患者様用）」
 - ・ 入院患者さんのご紹介 … 「転院連絡書」
 - 申込書は，平日の17時までに送信していただくようお願いいたします。
 - ご紹介いただきました患者さんの診療情報は，随時提供いたします。
- ※ 時間外の救急，緊急入院が必要な患者さんのご紹介は，直接日当直医師にご連絡ください。**

【紹介患者（検査依頼）FAX 申込書の送信先】

盛岡市立病院 地域医療連携室 FAX 019-631-2102

「紹介患者（検査依頼）FAX 申込書」は当院 HP からダウンロードできます。

【URL】 <http://www.morioka-city-hosp.jp/engaged/zyuzisya.html>